

観光社会資本の事例

テーマ	憩いと賑わいの金ヶ崎緑地
【施設の状況写真】	
	
<p>芝生広場の奥には「敦賀港の父」と呼ばれる旧大和田別荘を模した休憩施設があり、背後には、金ヶ崎城跡の丘が見える。</p>	<p>海沿いのボードウォークは、帆船のデッキに似せてつくられている。そこから望む敦賀湾には、船の往来やコンテナターミナルなど、港の風景が広がる。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>海の日に合わせて、毎年7月に開催される「敦賀サマーフェスティバル」では、多くの人で賑わう。</p>	<p>休日には、散歩をする人や休憩の場所として利用されている。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>金ヶ崎緑地は、憩いの空間として市民に親しまれ、イベントなどの開催時には多くの人々で賑わっています。</p> <p>また、周辺には「旧敦賀港駅舎」、「赤れんが倉庫」、「きらめきみなと館(イベントホール)」など、敦賀港の象徴的な建物があり、一体的に観光資源として機能しています。</p>	
	
<p>赤れんが倉庫</p>	

テーマ	憩いと賑わいの金ヶ崎緑地
【社会資本の基礎データ】 ○名称 金ヶ崎緑地 ○所在地 福井県敦賀市金ヶ崎 ○事業名 港湾整備事業 ○事業主体 福井県 ○事業期間 平成5年度～平成14年度	
【社会資本の役割・効果】 ○憩いと賑わいの空間 金ヶ崎緑地(緑地面積3.5ha)は、敦賀港の景観や開放感を楽しむシンボル緑地として整備されました。また、イベント会場としても利用されています。 ○災害時の利用 金ヶ崎緑地に隣接する蓬莱・桜地区の岸壁を耐震強化し、災害直後や復旧期間中の物流機能を確保する計画となっています。 緑地は市街地からのアクセスも容易であり、耐震強化岸壁の機能とあわせて、避難場所として利用することとなっています。	
【位置図】  <div data-bbox="927 1249 1441 1615" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 交通アクセス [自動車の場合] 北陸自動車道・敦賀ICより 約10分 JR敦賀駅より 約5分 [公共交通機関の場合] JR敦賀駅よりコミュニティバス「はぎ号」 右回り8分「港町」停留所下車 徒歩3分 </div>	
【関連ホームページ】 港都つるが株式会社 http://www.tmo-tsuruga.com/	